

## 社会保険業務の業務・システム最適化計画の概要

### ～ 最適化の基本理念 ～

- ①業務の効率化・合理化 ②利用者の利便性の維持・向上 ③安全性・信頼性の確保 ④経費削減

### 最適化の実施内容

#### 1. 業務施策

- (1) お客様へのサービス向上
  - ・年金加入状況等の情報提供の充実
  - ・コールセンター機能の充実
- (2) 業務処理の効率化・合理化
  - ・業務の集約化
  - ・定型的な業務の外部化や、市場化テスト等による外部委託の拡大
  - ・手作業処理のシステム化や、他公的機関とのデータ連携等による業務処理の合理化
- (3) 業務品質の向上
  - ・全国統一の業務処理基準の作成
  - ・業務ノウハウ共有化の仕組みの構築

#### 2. システム施策

- (1) 記録管理システム及び基礎年金番号管理システムのオープン化
  - ・データ通信サービス契約から脱却
- (2) ハードウェア資源の集約及び有効活用
  - ・年金給付システムのハードウェア資源の集約
- (3) データセンターの統合

### 3. 安全性・信頼性の確保

- (1) 個人情報の暗号化
- (2) 利用者認証機能の強化

### 4. 調達施策

- (1) 原則、一般競争入札による調達
- (2) 著作権等の知的所有権の取得

### 5. 最適化の実施に向けた体制整備（ITガバナンス体制の確立）

- (1) システム検証委員会による審査・確認機能の強化
- (2) システム部門の体制強化と専門性の高い職員の確保

## システム導入経費及び削減効果

### 1. システム導入経費（平成18～22年度見込み）

- (1) オープンシステムの構築等（約1,300億円）
- (2) 過去に行ったソフトウェア開発分（いわゆる残債）の返済（約1,500億円）

### 2. 削減効果

- (1) システムの年間運用コストを35%程度削減（約850億円 → 約550億円）
- (2) システムの初期コストを約4年で回収
- (3) 業務及びシステムの施策で9,000人～9,100人を人員削減  
（2,700人～2,800人を強化する業務へシフト）